



1:8,000

一宮市 雨水出水浸水想定区域図 分割版 (2/2)【想定最大規模降雨】

凡例

シミュレーション対象範囲

想定最大規模降雨 最大浸水深

	～0.3m
	0.3m～0.5m
	0.5m～1m
	1m～3m
	3m～5m
	5m～10m
	10m～20m
	20m～

0 125 250 500 750 1,000 m

1. 説明文

- この雨水出水浸水想定区域図は、令和6年度末時点の一宮市における下水道・調整池等の排水施設の状態等を勘案し、想定し得る最大規模の降雨(1時間降雨量147mm)に伴う雨水出水により、内水氾濫が発生した場合に浸水が想定される範囲やその深さをシミュレーションにより求めたものです。
- 雨の降り方によっては、この図に色がついていない場所でも浸水する可能性があります。浸水深も深くなる可能性があります。
- この図は、洪水(河川の破壊または越水)による氾濫等は考慮していませんので、このような事象が同時発生した場合は、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。
- この図は、想定最大規模降雨による浸水を想定するため、排水先の河川の水位を堤防高に設定しています。
- 水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住まいの状況により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。
- この図の対象範囲外の区域においても、内水氾濫による浸水が発生場合があります。
- この図は、水防法に基づき、浸水対策を目的として下水道施設が整備された区域を対象としています。

2. 基本事項等

- 作成主体：一宮市
- 指定年月日：令和8年9月2日
- 指定の法令根拠：水防法(昭和24年法律第193号)第14条の2第2項
- 指定の前提となる降雨：ピーク時の1時間に147mmの降雨がある場合で、平成20年8月末豪雨(H20.8.28)の約1.2倍の降雨
- 浸水想定手法：浸水シミュレーション手法 降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一連で実施、地形情報を活用(下水道等の現況排水能力以上は全て溢れ、区域内の低平地に全量湛水するものとした)
- 境界条件・解析範囲における最下流端水位は堤防高、排水機場・ポンプ場は運転
- その他計算条件等：対象区域を5m(25m)のメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算